

第三者行動規範

最高調達責任者および 最高倫理・コンプライアンス責任者からのメッセージ



マッキンゼーは、創業以来、100年に及ぶ歴史の中で、常に私たちのパーサス、ミッション、バリューを基盤として歩んできました。これらを重要な柱として、共通の目標の達成に向けて意義あるパートナーシップを築き、より良い社会の実現を目指し、常に正しい行動を追求してきました。世界やビジネス環境が絶えず変化する中にあっても、私たちは今後も、これらの理念を堅持し続けることを誓います。

第三者行動規範は、マッキンゼーが第三者の皆様と協働し、バリューチェーン全体にわたって信頼を構築・維持するための原則を示したもので、マッキンゼーが自ら実践している、卓越性、誠実性、相互尊重の基準を反映しており、協働いただく皆様にも、同等の基準を共有し、共に実践いただくことを期待しています。また本規範は、クライアントおよび地域社会に対して、そして協働するすべての関係者の間で果たすべき、共通のコミットメントを示すものであります。

第三者の皆様に本規範の原則を実践いただくことで、私たちの協働関係がさらに深まり、サプライチェーンの強靭性が高まり、ひいては世界にプラスの影響をもたらすことができます。マッキンゼーは、私たち自身に求めているのと同様に、すべての第三者の皆様にも、本規範に示された価値観を理解し、共感し、尊重していただくことを期待しています。

皆様のご協力とパートナーシップに、心より感謝申し上げます。

スコット・パリス (Scott Parris)
マッキンゼー・アンド・カンパニー 最高購買責任者

ダニエル・トルヒージョ (Daniel Trujillo)
マッキンゼー・アンド・カンパニー
最高倫理・コンプライアンス責任者

はじめに

マッキンゼー・アンド・カンパニー（以下「マッキンゼー」）は、調達および事業運営において、最高水準の誠実性、社会的責任、法令遵守、説明責任を堅持することを約束しています。マッキンゼーは、当社に製品やサービスを提供するすべての第三者の皆様にも、同様の基準に基づいて活動いただくことを期待しています。

この第三者行動規範（以下「本規範」）は、第三者が事業活動を行う際に、マッキンゼーが期待する行動基準を明確に示したものです。第三者の皆様には、マッキンゼーが自らの事業運営において遵守しているのと同等の、誠実性、法令遵守、責任ある事業慣行の基準を維持していただくことが求められます。また、本規範および事業を行う地域で適用されるすべての法令・規制を遵守し、必要に応じて関係当局からの要請に対応していただく必要があります。

さらに、自社のサプライチェーン全体においても、同等の基準を適用いただくことが期待されています。契約で定められている場合、第三者の皆様は、自社の従業員、請負業者、コンサルタント、代理人が、本規範およびマッキンゼーが適用しているその他のポリシーを理解し、遵守できるよう、必要な方針、手続き、監視体制を整備しなければなりません。

第三者の定義

本規範において「第三者」とは、マッキンゼーに製品やサービスを提供する、またはマッキンゼーの代理として、もしくはマッキンゼーと連携して業務を行う法人または個人(マッキンゼーの従業員を除く)を指します。第三者には、例えば、サプライヤー、アドバイザー、請負業者、コンサルタント、代理人、仲介業者、販売代理店、関連会社、その他のビジネスパートナーなどが含まれますが、これらに限定されるものではありません。また、「労働者」とは、第三者の従業員または下請業者を指します。



第三者行動規範の基本原則

マッキンゼーの
第三者行動規範は、
4つの基本原則に基づいて
います。これらの原則は、
マッキンゼーがどのような
組織であり、また第三者に
何を期待しているのかを明確
に示す、中核的な基準です。
したがって、誠実性、説明責任、
そして共通の目的意識を
もって協働するための
指針となります

正しい行動をとる

[贈収賄および汚職の禁止](#)

[インサイダー取引の禁止](#)

[貿易管理および制裁措置の遵守](#)

[個人のプライバシー保護](#)

[正確かつ完全な記録の維持](#)

[利益相反の回避](#)

[違反の可能性の報告](#)

[報告者保護](#)

テクノロジーとデータを適正に利用する

[機密情報の保護およびデータの安全な管理](#)

[テクノロジー資産および人工知能\(AI\)の責任ある活用](#)

互いを尊重する

[ハラスメントおよび差別の禁止](#)

[責任あるコミュニケーション](#)

[安全な職場環境の確保](#)

[現代の奴隸制および人身取引の禁止](#)

[雇用関連法令の遵守](#)

[労働者の移動の自由の尊重](#)

[民間および公的な警備要員に対する適切な監督](#)

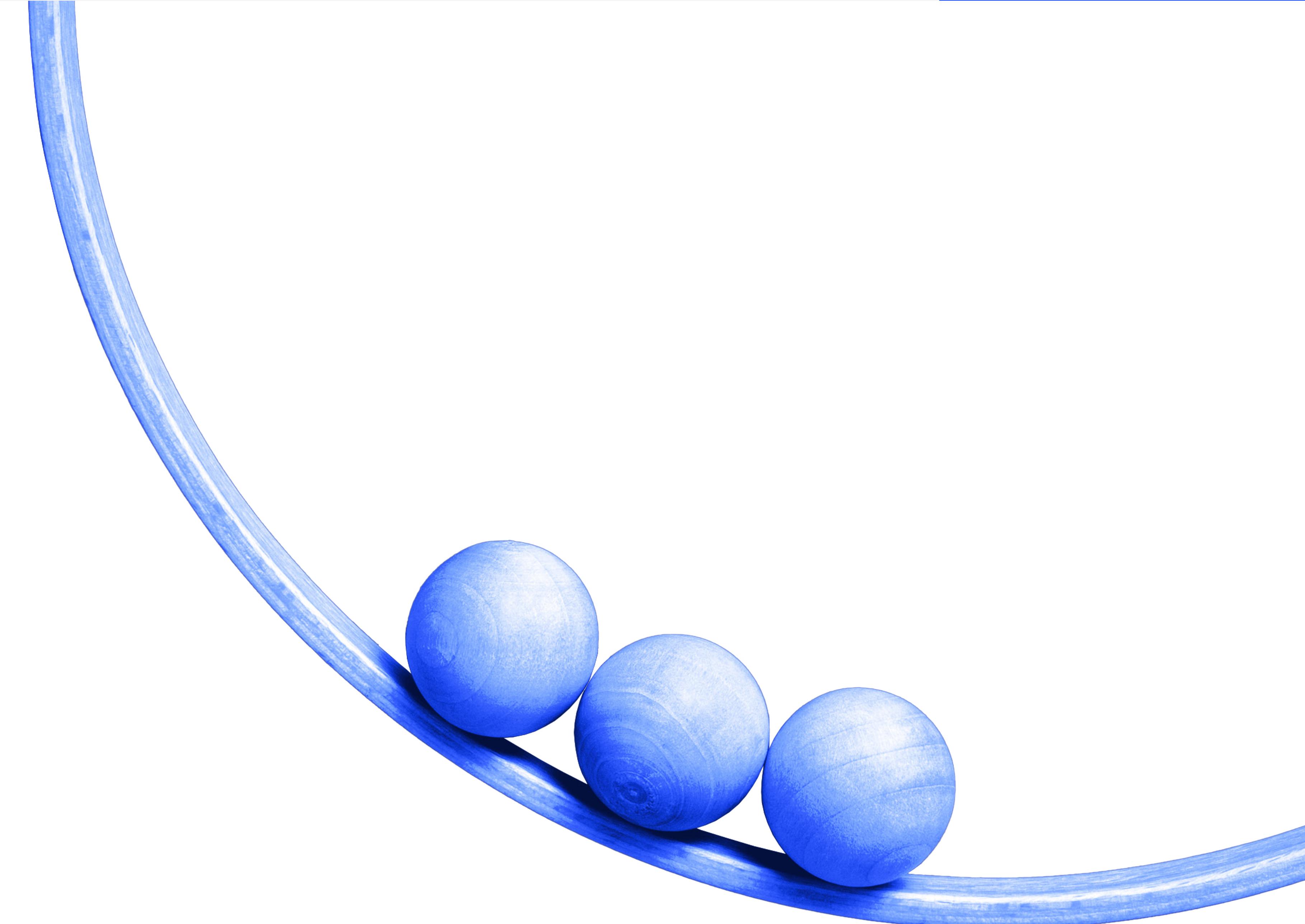
地域社会への影響の考慮

[インクルーシブ調達の推進](#)

[環境の持続可能性の追求](#)

正しい行動をとる

マッキンゼーは、最高水準の倫理基準を堅持し、適用されるすべての法令、規則、規制を遵守することを約束します。



贈収賄および
汚職の禁止

インサイダー
取引の禁止

貿易管理および
制裁措置の
遵守

個人の
プライバシー
保護

正確かつ
完全な記録の
維持

利益相反の
回避

違反の可能性
の報告

報告者保護

贈収賄および汚職の禁止

マッキンゼーは、いかなる形態・金額であっても、またいかなる個人との間で賄賂の申し出、約束、収受、要求、支払いを行うことはありません。また、マッキンゼーの代理として、第三者にこのような行為を求めることが一切ありません。マッキンゼーのため、あるいはマッキンゼーと共に業務を行う際には、第三者にも同様の姿勢と行動を求めます。

第三者は、米国海外腐敗行為防止法 (FCPA) および英国贈収賄防止法を始めとして、適用されるすべての贈収賄防止および腐敗防止関連の法令を完全に遵守しなければなりません。マッキンゼーは、第三者が、自社およびその下請業者や代理人による反汚職法および本規範の遵守を確保するため、適切な内部管理体制を整備するよう合理的な努力を払うことを期待しています。

いかなる形態の贈収賄も禁止

第三者は、いかなる形態および金額であっても、賄賂の申し出、約束、供与、要求、収受してはなりません。マッキンゼーは、いかなる形態の腐敗行為も許容しません。第三者は、贈収賄、不正行為、マネーロンダリング、または不当な事業上の利益を得ることを目的とした、いかなる行為にも関与してはなりません。同様に、第三者は、マッキンゼーの代理として他者に不正行為を許可、助長、支援してはなりません。

贈収賄には多様な形態があります。例えば、現金や金銭的価値のあるもの(旅費、食事、贈答品、ギフトカードなど)を提供または収受する行為が挙げられます。また、雇用やインターンシップ(無給の場合を含む)の提供または約束、慈善寄付の実施、研修・知識共有イベントへの招待、リサーチ支援やプロボノサービスの提供、正式な契約関係の枠外での便宜提供なども、贈賄と見なされる場合があります。

ファシリテーション・ペイメントの禁止

第三者は、いかなる形態であっても、ファシリテーション・ペイメントを行ってはなりません。ファシリテーション・ペイメントとは、政府職員などに対し、定型的または非裁量的な手続きを迅速または確実に処理してもらうことを目的として支払う金銭を指します。ファシリテーション・ペイメントの例としては、ビザ発給や通関手続きなどの処理を早めるために、政府職員に非公式の手数料を支払う行為などが挙げられます。

マッキンゼーの代理としての政治献金および慈善寄付の禁止

第三者は、マッキンゼーの代理として、政治献金や慈善寄付を行ってはなりません。

第三者が、マッキンゼーの代理として政治献金や慈善寄付を行うよう依頼を受けた場合は、その依頼を断り、速やかにマッキンゼーへ報告しなければなりません。

マッキンゼーの代理としての贈答品、食事、接待、旅費などの提供禁止

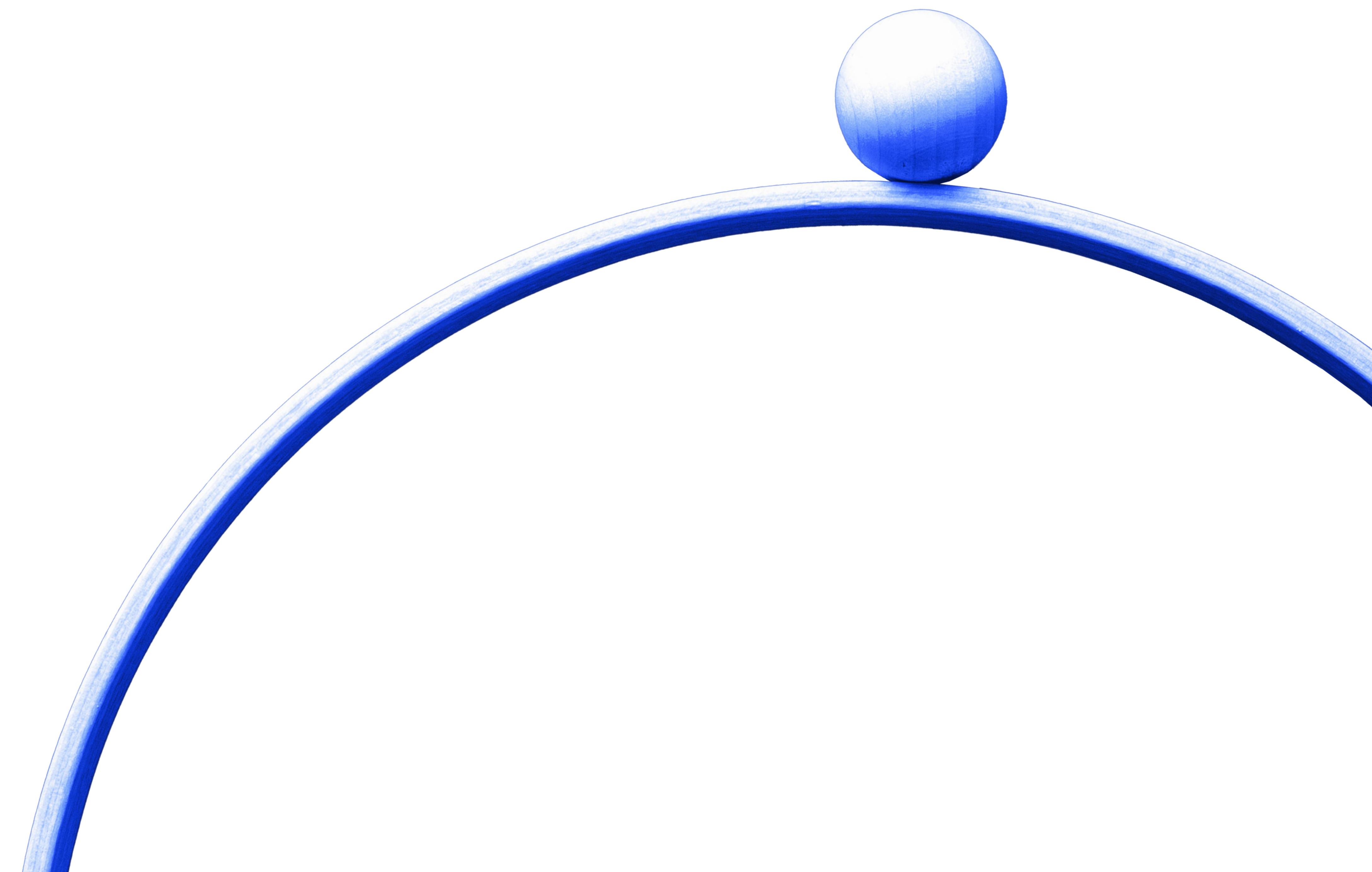
第三者は、マッキンゼーの代理として、クライアントまたはその他の第三者に対して、贈答品、食事、接待、旅費などを提供してはなりません。例外的にやむを得ない場合は、事前にマッキンゼーのスポンサーまたは窓口へ連絡し、事前に承認を得た上で、マッキンゼーの贈収賄防止方針を遵守する形で実施する必要があります。

インサイダー取引の禁止

第三者は、いかなる企業(マッキンゼーのクライアントを含む)に関する証券(株式、社債、その他の金融商品を含む)を、情報の入手経路を問わず、インサイダー情報に基づいて売買または取引を行ってはなりません。また、そのような情報に基づいて他者に取引について助言または推奨したり、情報を共有したりしてはなりません。

貿易管理および制裁措置の遵守

第三者は、貿易および経済制裁に関するすべての適用法令・規制を遵守しなければなりません。



個人のプライバシー保護

マッキンゼーは、プライバシーおよび個人データの保護において、世界最高水準を堅持することを約束しており、第三者にも同等の姿勢および基準を求めます。

第三者は、個人データを収集、利用、保管、廃棄する際には、法令を遵守し、倫理的かつ安全な方法で実施しなければなりません。個人データは、正当な目的の範囲内でのみ利用し、不正アクセスから保護し、目的が達成され不要となった時点で適切に削除しなければなりません。第三者は、常に個人のプライバシー権を尊重し、データ保護に関する要請や問い合わせに適切に対応しなければなりません。

機密情報および個人情報は、マッキンゼーとの契約で許可された範囲内、または法令に基づく場合にのみ利用または共有し、マッキンゼーの事前の書面による承認なしに開示してはなりません。これらの義務は、契約期間中および契約終了後も引き続き適用されます。

第三者は、データ侵害や不正アクセス、または個人データに対するリスクの可能性を疑う、もしくは把握した場合には、指定された報告経路を通じて直ちにマッキンゼーに報告しなければなりません。

正確かつ完全な記録の維持

記録管理を正確かつ高い透明性をもって行うことは、健全なビジネス関係を築く基盤であり、法的、財務的、規制上の義務を果たすために不可欠です。すべての業務文書や報告書において、第三者がマッキンゼーと同水準の高い正確性および完全性を堅持することを期待しています。

第三者は、マッキンゼーとの業務に関するすべての記録(請求書、精算書、作業時間記録、規制関連の提出書類、その他の業務文書など)について、正確性と真実性を確保し、判読可能かつ完全な状態で、遅滞なく作成および管理しなければなりません。

法令および契約条件の遵守

すべての記録管理は、適用される法令、業界規制、およびマッキンゼーとの契約条件に準拠して行わなければなりません。

利益相反の 回避

第三者は、マッキンゼーとの契約または業務を開始する時点で、実際または潜在的な利益相反が存在する場合には、これを申告しなければなりません。また、契約期間中に新たな利益相反が発生した場合や、それを認識した場合には、速やかにマッキンゼーに報告しなければなりません。利益相反には、第三者が個人的、金銭的、または外部的な利害関係を有している場合、第三者の活動がマッキンゼーの利益と競合または相反する可能性がある場合、または第三者がマッキンゼーの従業員と何らかの利害関係を有している場合などが含まれます。

違反の可能性の 報告

第三者は、法令または本規範に違反する可能性を認識した場合、速やかにマッキンゼーに報告しなければなりません。

報告が必要となった際には、マッキンゼーの正式な報告窓口「[Got a Concern?](#) (懸念がありますか?)」を通じて、法令の範囲内で匿名かつ機密情報として届け出ることができます。詳細は、マッキンゼーの「[Got a Concern?](#) (懸念がありますか?)」ウェブページをご確認ください。また、第三者は、法令で認められる範囲において、マッキンゼーに関する召喚状、監督当局からの照会、報道関係者からの問い合わせ、またはその他の第三者からの要請を受けた場合、速やかにマッキンゼーに通知しなければなりません。

報告者保護

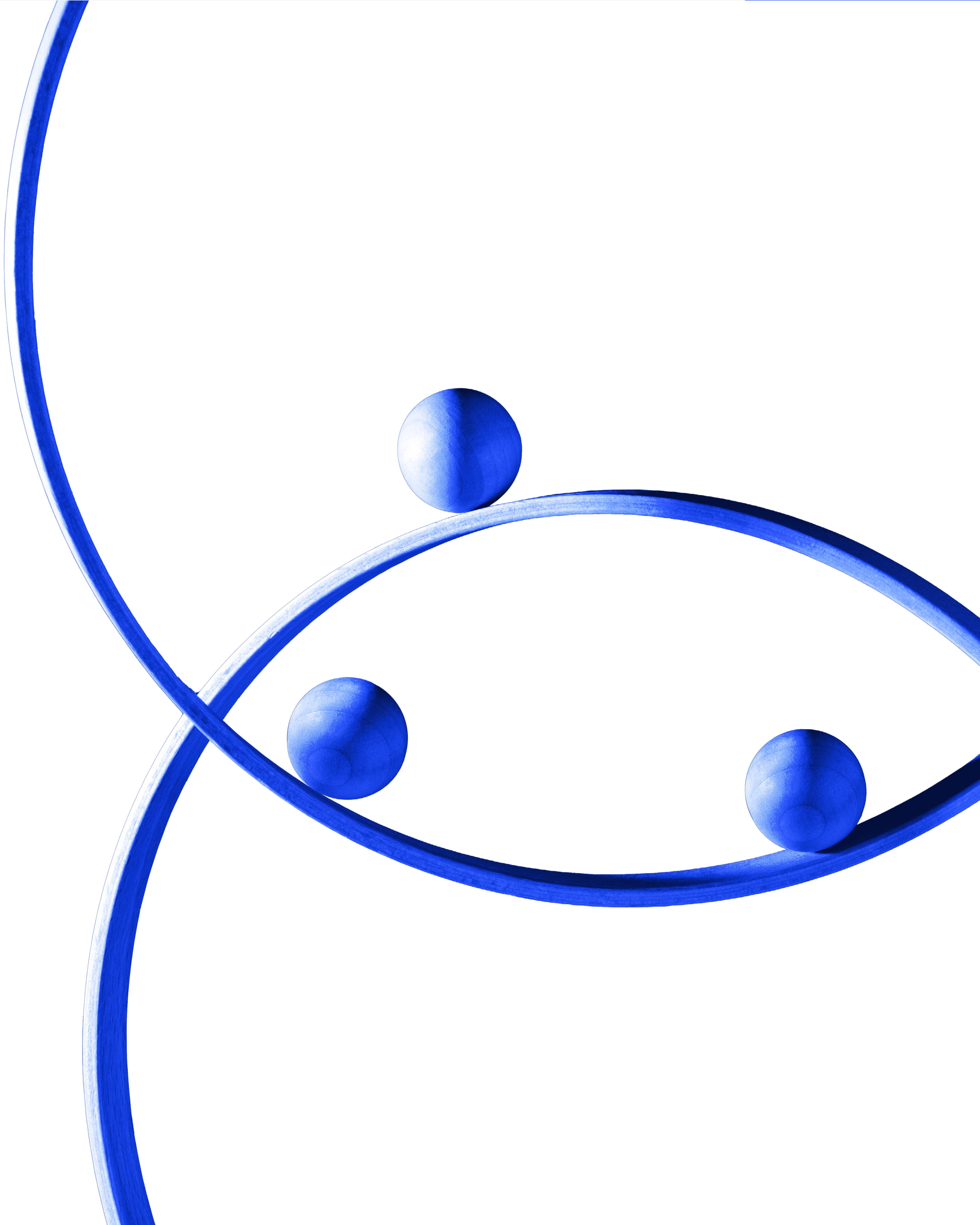
マッキンゼーは、第三者において職場での懸念を報告できるよう、適切な方針および手続きが整備されていることを期待しています。この方針および手続きは、透明性があり、理解しやすい内容であること、また報告者および関連する調査に協力する者が報復や不利益な扱いを受けないよう保護されることが求められます。

テクノロジーとデータを 適正に利用する

第三者は、機密情報・資産の安全を確保し、従業員、顧客、取引先などの個人のプライバシーを保護しなければなりません。

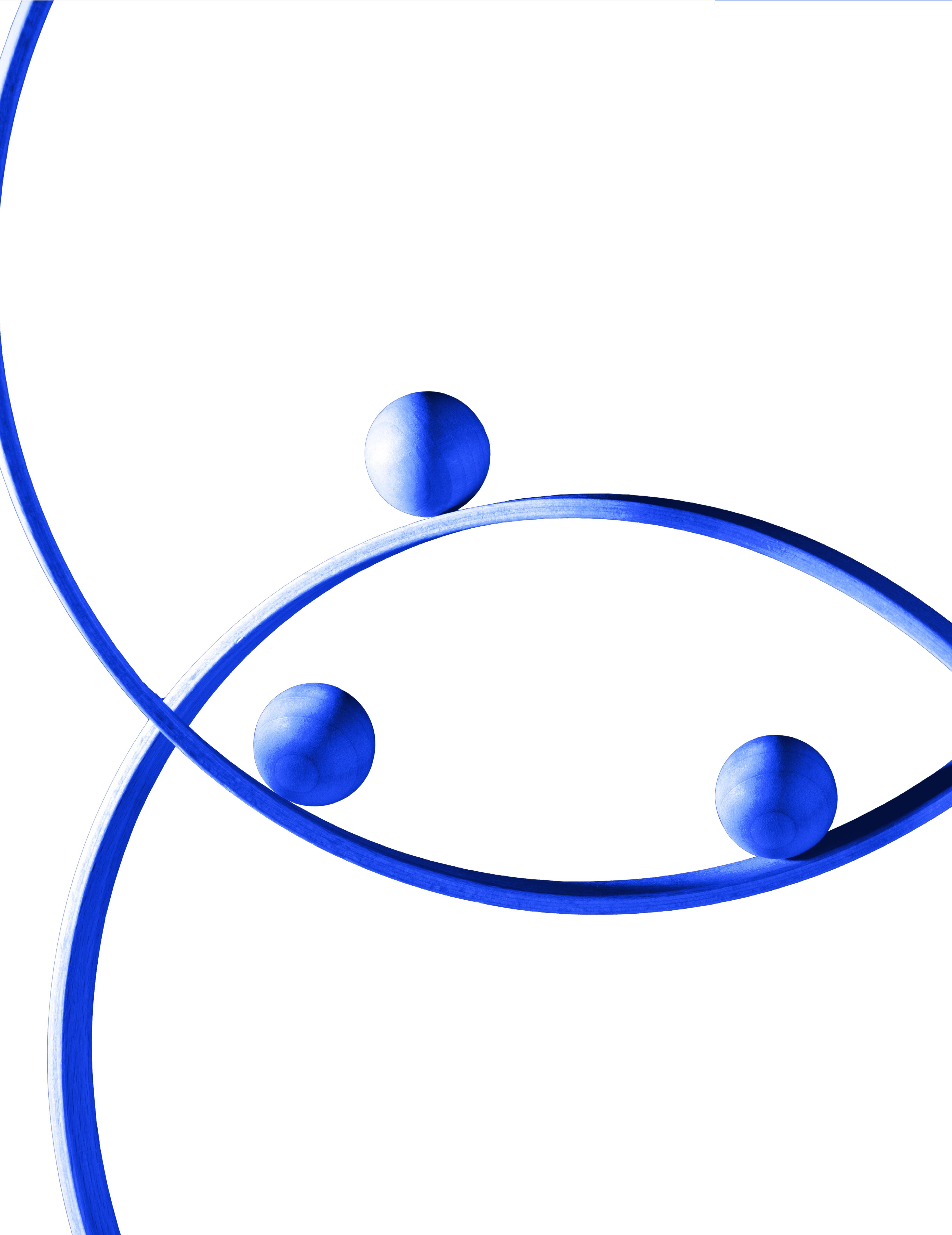
機密情報の保護および
データの安全管理

テクノロジー資産および
人工知能 (AI)の責任ある活用



機密情報の保護および データの安全管理

第三者は、マッキンゼーおよびそのクライアントの機密情報・資産(物理的、デジタル、財務的、評判に関する情報、個人データなど)を、適用されるすべての法令および契約上の義務に従い、適切に保護しなければなりません。これには、不正アクセス・使用、開示、紛失、改ざん、破壊を防止するための措置の導入および維持が含まれます。機密情報および個人情報は、マッキンゼーとの契約で許可された範囲内、または法令に基づく場合にのみ利用または共有し、マッキンゼーの事前の書面による承認なしに開示ではありません。これらの義務は、契約期間中および契約終了後も引き続き適用されます。



テクノロジー資産および人工知能 (AI) の 責任ある活用

第三者は、マッキンゼーのテクノロジー、データ、システムを利用する際には、マッキンゼーの適正利用基準を完全に遵守しなければなりません。これらの基準は、データの完全性およびシステムの安全を確保し、グローバルネットワーク全体の信頼性を維持するために定められています。

システムおよびデバイスの 適正利用

マッキンゼーのシステムまたは技術資産へのアクセス権を付与された第三者は、承認された業務目的に限ってそれらを使用することができ、私的な活動、不正行為、または許可されていない用途で使用してはなりません。

資産の保護

第三者は、アクセス権が付与されている、マッキンゼー所有のデバイスや情報の安全を確保し、盗難、誤用、偶発的な損傷を防止するための適切な措置を講じなければなりません。

承認済みツールのみの使用

第三者は、マッキンゼーのシステムを利用する際には、承認されたソフトウェア、プラットフォーム、およびコミュニケーションツールのみを使用することができます。承認されていないメッセージアプリやツールは、機密情報を含まない業務連絡など、必要な場合に限り使用が認められます。

不正アクセスの防止

第三者は、アクセスカード、複雑で安全性の高いパスワードまたはセキュリティコードの設定、二要素認証、物理的なセキュリティ対策(プライバシースクリーン、ケーブルロックなど)、車内へのパソコン放置禁止など、強固なセキュリティ対策を講じることが求められます。

互いを尊重する

マッキンゼーは、インクルーシブな文化を育み、いかなる形の差別も許容しません。

ハラスメントおよび
差別の禁止

責任ある
コミュニケーション

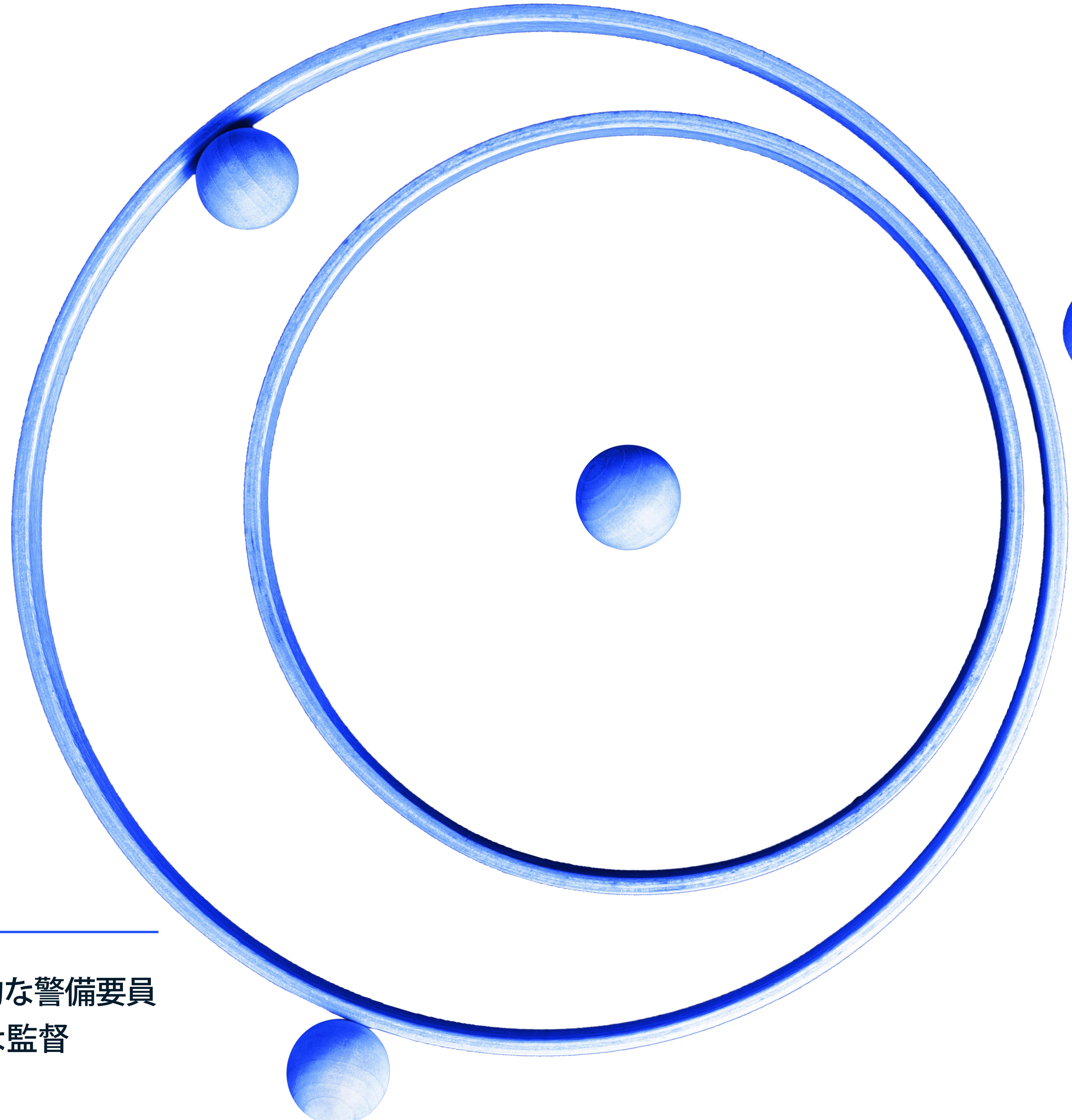
安全な職場環境の
確保

現代の奴隸制および
人身取引の禁止

雇用関連法令の遵守

労働者の移動の
自由の尊重

民間および公的な警備要員
に対する適切な監督



ハラスメントおよび 差別の禁止

第三者は、差別、雇用慣行、ハラスメント、報復行為に関するすべての適用法令および規制を遵守しなければなりません。

第三者は、年齢、健康状態、障害、民族的または社会的出自、性別、性自認、国籍、人種、性的指向、婚姻状況、親としての地位、妊娠、政治的信条、宗教または信仰、労働組合への所属、退役軍人の地位など、いかなる理由によるものであっても、雇用における不平等な取り扱い、差別、ハラスメント、その他の虐待行為のない職場環境を維持することが求められます。不平等な取り扱いには、同等の価値を有する労働に対して、異なる報酬を支払うことも含まれます。



責任あるコミュニケーション

第三者の発言や記述内容には大きな意味があります。それは、皆様の専門性と誠実さを示すと同時に、マッキンゼーの評判にも影響を及ぼす可能性があるためです。マッキンゼーの価値あるパートナーとして、皆様にはマッキンゼーのクライアントおよび私たちのパートナーシップにおける信頼を守る重要な役割を担っていただきしており、責任をもって、思慮深く、誠実なコミュニケーションを行っていただくことを期待しています。

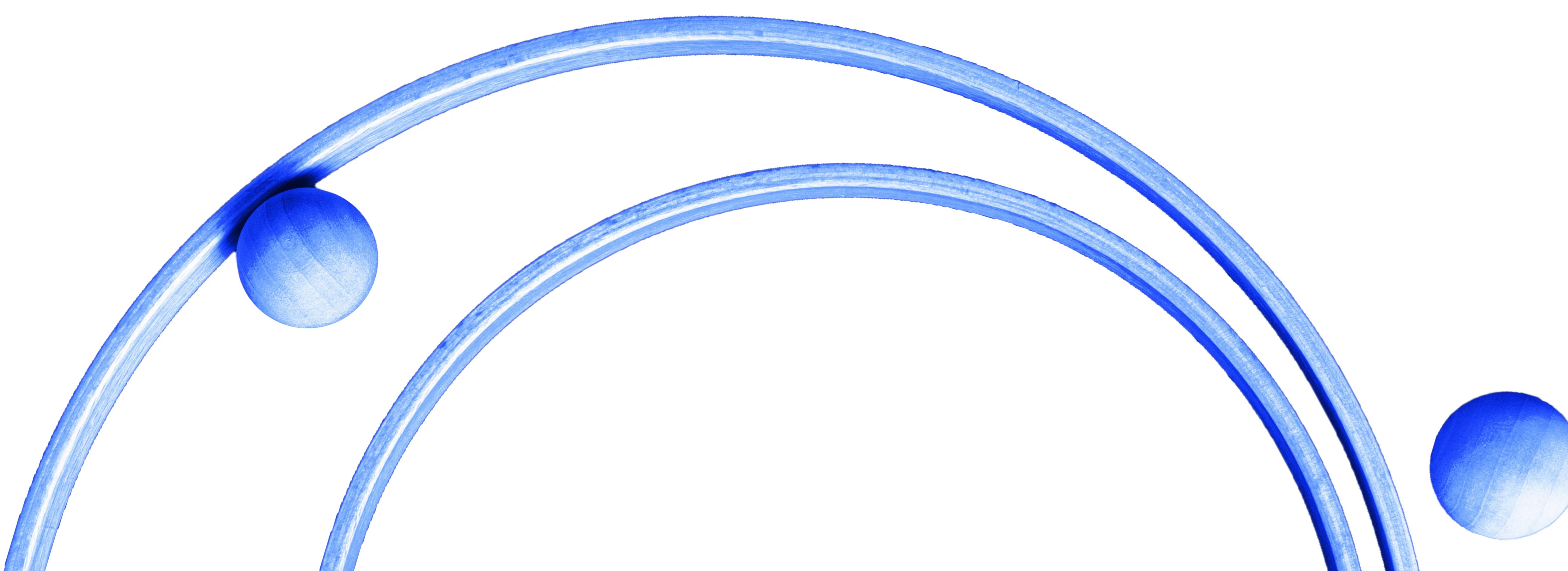
機密情報の保持

機密保持は、マッキンゼーのクライアントおよび事業を保護する上で極めて重要です。第三者は、マッキンゼーとの契約内容を含むすべての専有情報および機密情報を厳重に管理し、書面などで明示的に承認されていない限り、他の第三者と共有してはなりません。また、明確かつ正当な業務上の必要性を持たない者に対して、クライアントおよびマッキンゼーに関する情報を開示してはなりません。

安全な職場環境の確保

マッキンゼーは、第三者が事業活動全体において適切な安全衛生管理を実践することを期待しています。

安全で健全な職場環境は、労働における基本的な原則であり、労働者の権利です。第三者は、労働安全衛生に関するすべての適用法令・規則を遵守しなければなりません。マッキンゼーは、第三者に対し、健康・安全上のリスクを最小化し、労働災害を防止し、すべての労働者およびその他の第三者にとって安全かつ健全な労働環境を確保するための取り組みを導入することを求めます。



現代の奴隸制および人身取引の禁止

マッキンゼーは、あらゆる形態の奴隸労働、強制労働、人身取引を断固として非難し、これらの行為を全世界の事業およびサプライチェーンから排除することに取り組んでいます。第三者も同等の基準を遵守し、自社の労働者または代理として行動する者が、強制労働、児童労働、人身取引のいずれにも関与しないよう徹底しなければなりません。第三者は、英国現代奴隸法 (UK Modern Slavery Act, 2015)、カナダのサプライチェーンにおける強制労働及び児童労働防止法 (Canada Fighting Against Forced Labour and Child Labour in Supply Chains Act, 2023)、オーストラリア現代奴隸法 (Australian Modern Slavery Act, 2018) を含む、人権および現代奴隸制防止に関するすべての適用法令を遵守しなければなりません。また、自社の事業およびサプライチェーン全体において、これらの法令を完全に遵守するための措置を講じることが求められます。

児童労働の禁止

第三者は、児童を労働者として使用してはならず、事業を行う国や地域で規定されている就業最低年齢に達している労働者のみを雇用しなければなりません。

国際基準では、児童労働について、児童の健康や発達に有害な業務、過度な労働時間を課す業務、または低年齢の児童が行う業務と定義されています。「児童」とは、15歳または義務教育を修了する年齢のうち、いずれか高い方の年齢に達していない者を指します(就業最低年齢に関する適用法令で別段の定めがある場合を除く)。ま

た、18歳未満の労働者を危険業務に従事させてはなりません。

人権の尊重

マッキンゼーは、国連グローバル・コンパクトの参加企業として、人権、労働、環境、腐敗防止に関する10原則を始め、世界人権宣言、国際労働機関 (ILO)の「労働における基本的原則及び権利に関するILO宣言」、および国連の「ビジネスと人権に関する指導原則」に賛同しています。マッキンゼーは、これらの原則を遵守するよう努めており、第三者にも同様の取り組みを期待しています。

詳細は、[McKinsey Human Rights Statement](#) (マッキンゼー人権方針) をご参照ください。

マッキンゼーは、人権の尊重に取り組んでおり、第三者にも自社の事業およびバリューチェーン全体において、同様の姿勢をとることを求めます。マッキンゼーは、サプライチェーンのいかなる段階においても、いかなる形態の人権侵害も許容しません。第三者は、国際的に認められた人権基準を遵守し、すべての労働者を尊厳と敬意をもって扱わなければなりません。これには、身体的暴力、脅迫、体罰、精神的強要、言葉の暴力、いじめ、ハラスメント、その他の敬意

を欠くあらゆる行為を厳格に禁止することが含まれます。

結社の自由の尊重

マッキンゼーは、第三者が労働者の結社の自由に関する権利を尊重することを求めています。これには、法令に従って労働組合や労働者評議会を結成またはそれらに参加し、団体交渉に加わる権利が含まれます。第三者は、労働者が報復、嫌がらせ、脅迫を受けることなく、これらの活動に自由に参加できる環境を確保しなければなりません。

雇用関連法令の遵守

第三者は、賃金および労働に関するすべての適用法令・規制を遵守しなければなりません。マッキンゼーは、第三者に対して、報酬が適正であるかを確認できる十分な情報を含む明解な賃金明細書を、適時に従業員に交付することを期待します。臨時労働者、派遣労働者、外部委託労働者を利用する際には、すべての適用法令・規制に従って行われなければなりません。また、マッキンゼーは、第三者が生活賃金の支払いおよび賃金の公平性の促進に努めることを推奨しています。

採用手数料の禁止

第三者は、採用過程のいかなる段階においても、労働者に対して採用手数料および関連費用の支払いを直接的または間接的に求めたり、許可したりしてはなりません。そのような費用の支払いが発覚した場合、第三者は速やかに当該労働者へ返金し、今後の法令遵守を徹底できるよう、再発防止措置を講じなければなりません。

雇用条件の通知

第三者は、労働者に対し、雇用開始前に労働条件を明示しなければならず、可能な限り、書面による雇用契約を通じて実施することが望されます。雇用条件は、雇用開始前に、労働者が理解できる言語で明確に伝えなければならず、少なくとも賃金に関する情報、労働時間、福利厚生、解雇事由を含める必要があります。

労働者の移動の 自由の尊重

第三者は、法令で義務付けられる場合を除き、政府が発行した労働者の身分証明書、旅券（パスポート）、就労許可証などの原本を保管、破棄、隠匿、またはアクセスを妨害してはなりません。また、法令により保管が必要な場合でも、法的義務を果たすために必要な最短期間に限り保管しなければなりません。労働者が常に自身の個人書類を保持できるようにしなければなりません。

第三者は、雇用者の管理下にある職場、施設、宿舎などにおいて、労働者の移動の自由を不当に制限してはなりません。第三者が労働者に住宅や輸送手段を提供する場合は、安全で衛生的な環境を確保し、労働者のプライバシー、尊厳、および主体性を尊重しなければなりません。

民間および公的な 警備要員に対する 適切な監督

警備のために民間または公的な警備要員を雇用または利用する場合、第三者は、拷問、残虐、非人道的または品位を傷つける取り扱い、個人の生命または身体の侵害、労働者の結社の自由の侵害を防止するために、これらの要員に十分な指導および監督を行わなければなりません。

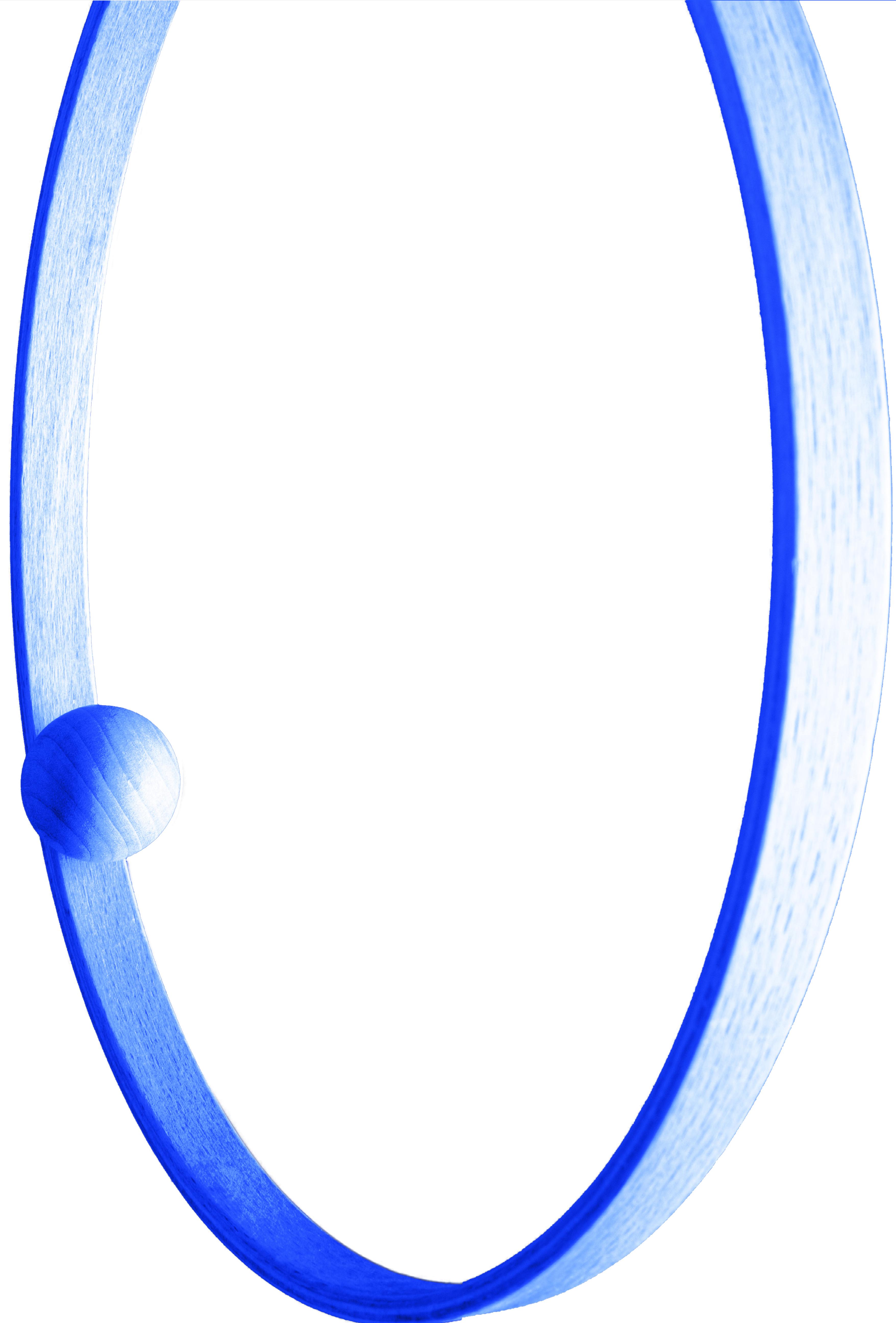


地域社会への影響の考慮

マッキンゼーは、インクルーシブ調達の推進に取り組んでおり、第三者にも持続可能な形での事業運営と、環境関連のすべての適用法令・規制を遵守することを求めていきます。

インクルーシブ調達の推進

環境の持続可能性の追求



インクルーシブ 調達の推進

マッキンゼーの調達プロセスは、公平なアクセスを促進するよう設計されています。その一環として、マッキンゼーは、適格な小規模および多様な事業者に対して、マッキンゼーとの取引機会の検討を奨励しています。

マッキンゼーは、第三者に対して以下のことを期待します:
(i) 公平かつ透明性のある選定および評価プロセスを活用すること、および (ii) 調達チームが、適格な第三者に対して公平な入札機会を提供すること。

環境の持続可能性の 追求

第三者は、環境関連のすべての適用法令・規制を遵守しなければなりません。マッキンゼーは、第三者に対し、自社の環境リスクおよび影響を特定し、適切に対応することを求めますまた、エネルギー使用量および温室効果ガス (GHG) 排出量を測定・管理し、排出削減に向けた取り組みの実施を求めます。さらに、該当する場合は、第三者の事業活動において、水資源やその他の天然資源、および廃棄物を測定・管理し、その削減に取り組むことを期待します。加えて、第三者およびそのサプライチェーンは、有害廃棄物、残留性有機汚染物質、水銀などの物質の使用、取り扱い、処理、廃棄に関する適用法令を遵守しなければなりません。

マッキンゼーの権利

マッキンゼーは、第三者による本規範の遵守を確保し、
その徹底を図るために、以下の権利を留保します。

第三者の選定

マッキンゼーは、第三者の評価、選定、オンボーディングプロセス、
および第三者とマッキンゼーの取引期間中のいかなる時点において
も、当該第三者の本規範の遵守状況を評価する場合があります。

第三者の評価

第三者の評価は、マッキンゼーが国連グローバル・コンパクトおよびより広範な専門的基準へのコミットメントを実践し、サプライチェーン全体のリスク管理を支えるものです。また、第三者評価は、環境の持続可能性、人権、労働、倫理など、本規範で扱うテーマに関して、サプライチェーンにおける負の影響を特定、防止、軽減し、その影響を把握・報告し、是正するために行うデューデリジェンスの重要な要素です。

すべての第三者は、オンボーディング時に本規範の遵守に同意することが求められます。

また、一部の第三者は、年に一度、一部の第三者機関は、権限を有する代表者が本規範を確認し、その内容を承認することを求められる場合があります。必要に応じて、第三者は、本規範の遵守に関する方針および取り組みについて、書面による情報の提供を求められる場合があります。

さらに、マッキンゼーは、特定の第三者に対し、第三者機関による証拠に基づく評価の実施を求める場合があります。また、本規範およびその他の関連事項への適合状況を確認し、継続的な改善を促進するために、現地監査の受け入れを求める場合があります。

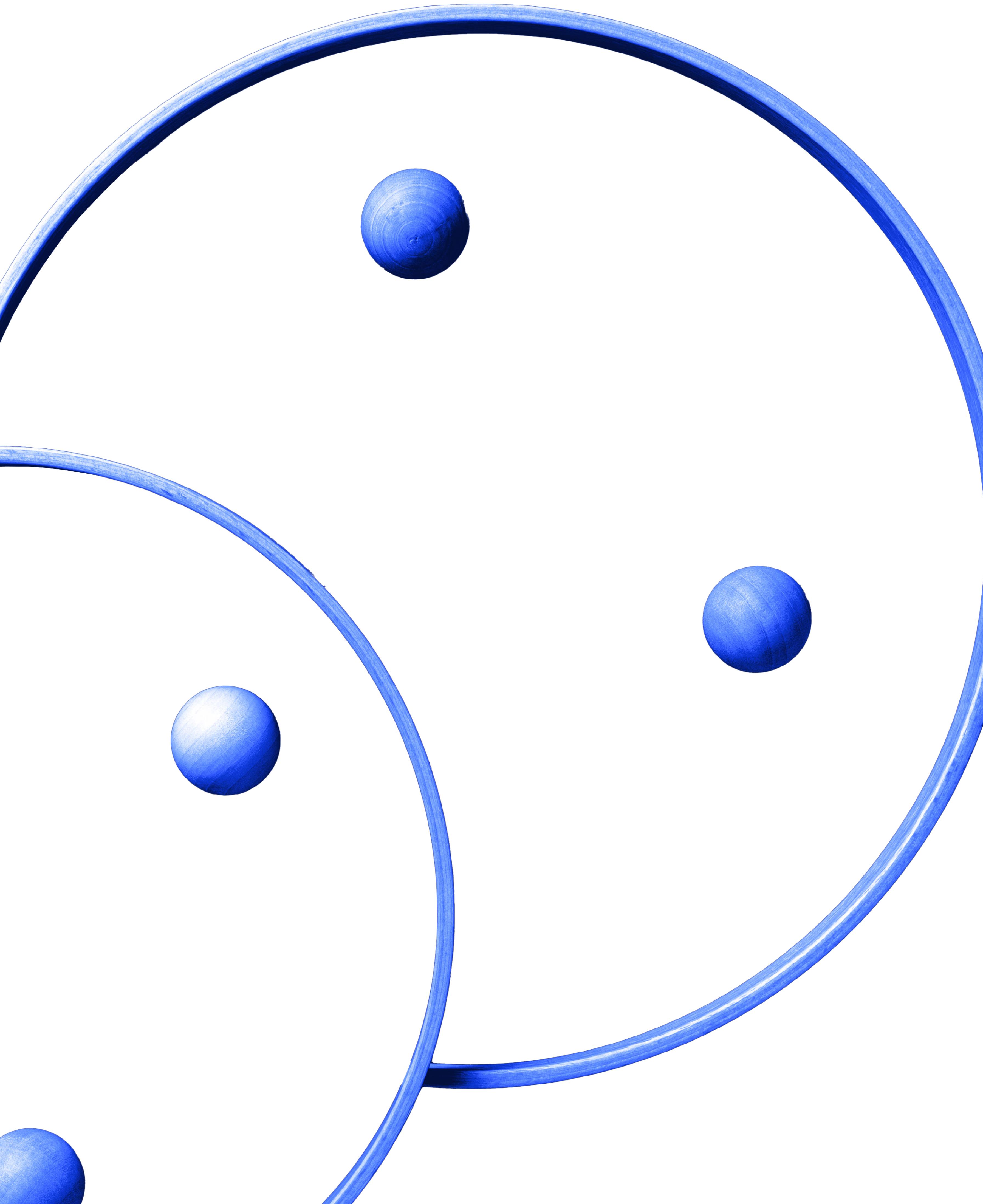
マッキンゼーは、本規範で扱うテーマについて、第三者との協働でパフォーマンスの向上に取り組むことを約束します。また、必要に応じて、第三者に対し、本規範に関する課題およびその他の関連する課題に対して特定の是正措置を講じるよう求める場合があります。マッキンゼーは自社に関連するテーマについて、マッキンゼーと共同で取り組むことに第三者が同意することを期待しています。

不遵守、違反行為、および契約終了

各第三者は、マッキンゼーに対する義務または約束を履行するために活用するすべての自社の第三者および労働者に対して、本規範を遵守させるか、または実質的に同等の義務を課すものとします。第三者は、自社または自社の第三者による違反の可能性を認識した場合には、速やかにマッキンゼーへ報告し、是正措置を講じなければなりません。本規範の不遵守または違反が発生した場合、当該違反が重大、是正不能、また

は法令違反に該当しない限り、マッキンゼーは、合意された是正措置を通じて問題を是正するための合理的な機会を第三者に付与することができます。第三者が本規範または法令に違反した場合、マッキンゼーは当該第三者との取引関係を一時停止または終了する場合があります。法令違反が確認された場合、マッキンゼーは関係当局に報告または開示する場合があります。

優先順位および本規範の改訂



本規範と適用法令との間に矛盾がある場合、第三者は法令を優先して遵守しなければなりません。本規範が法令を上回る要件を課している場合、第三者は法令の範囲内でこれらの要件を遵守することが求められます。

マッキンゼーは、本規範の要件を更新または改訂する権利を有します。

制定日:2018年10月25日

初回改訂日:2020年12月1日

最終更新日:2025年10月6日